



～鏡をのぞいて～

「高校野球にはドラマがある。」と言われます。

10 年も前の話ですが、甲子園で劇的な逆転優勝を遂げ、現役を退いた元監督のインタビューが印象に残っています。

試合中何度も自分の顔を鏡に映して見ました。ナインが守備につくとき、さっとベンチの裏へ行き、壁の鏡をのぞいて『まなざし』をチェックしました。

「よし、笑いを含んでいる」と何回となく繰り返しました。きっかけは、前年の決勝戦でスクイズを失敗した選手を目で叱っていた自分の姿をビデオで見て、「あの目で選手が委縮したのか」と感じたからでした。

また、初めて小学校の 1 年生を受け持つことになった先生に同じような話を聞いたことがあります。

その先生は、入学式前日に朝から机に名札を貼ったり、床に雑巾をかけたりと準備をし、一段落して一休みした時、1 年生との初対面を想像してみたのですが、考えただけで胸が躍る興奮を覚えました。しかし、ふと、「自分は果たして幼い 1 年生に親しみやすい顔をしているだろうか」と思い、さっそく鏡に向かってあれこれと百面相をしながら自分の顔を映してみたのですが、この時ほど真剣に鏡を見たことはありませんでした、というものです。

さて、子育て中のお父さんやお母さんは、高校野球の監督でも学校の先生でもありませんが、毎日子どもと生活を一緒にするという事は、子どもに対する大きな影響と大切な役割を担っていることではないかと思えます。

先ほどの話から言えることは、鏡に向かうのは、自分の「まなざし」を映してみることであり、他人ではなく「自らを戒しめること」の大切さです。

それをここで紹介したのは、子育て中の方にはまだ間に合うと思うからです。やってみる価値があると思うからです。孫を持つ年齢になると、子育て時代を後悔してばかりですが、過去を嘆いてばかりでは仕方ありません。

早速、鏡に向かって百面相を実践してみました。

何だかいいことがありそうな予感を感じました。

第2回ファミサポ・病後児研修

出前講演会「自分を好きな子どもを育てよう」
東京都の子育て支援講座を活用した研修の様子です。
皆さん熱心にお話を聞き、質問もたくさん出ました。



ペアを組んで、お互いの良いところを見つけて褒めてみましょう！



民生児童委員さんの託児があるから、ママも安心して講義を聞けました！



「絵本といっしょ」では、
絵描き歌もします！
みんな上手に描けました！！



予約・問い合わせ

奥多摩町子ども家庭支援センター・きこりん 電話85-2611

相談専用電話 85-1788

相談専用メールアドレス：kikorin@town.okutama.tokyo.jp

<http://www.town.okutama.tokyo.jp/kurashi/kosodate/shien/center/index.html>

